

This and That at MISHOP MISHOP News from all activities.

みんなの活動だより

発行: MISHOP 広報部会

2018.10

62

REPORT

国際交流フェスティバルに4万8千人来場

第29回三鷹国際交流フェスティバルが9月23日、井の頭恩賜公園西園文化交流広場と野球場周辺で開催されました。

9月は雨の日が多かったのですが、当日はお天気に恵まれ、会場には延べ4万8000人が来場。世界各国の味の屋台に長い行列を作ったり、民芸品を手にとったり、終日賑わっていました。駐日アフガニスタン大使館のテントには、バシヤール・モハマッド大使が来場されました。

メインステージでは中米の民族楽器アルパやサンバ、フラメンコなどが演奏されたほか、4か所のワールドバザールアトラクションではメキシコやペルーの民族舞踊、中国の雑技(大道芸)、クラウン芸などが披露され、大勢が見入っていました。

ボランティア・スタッフは会員や市民、中学生、高校生、大学生ら約400人にも上り、各所での活躍が目立ちました。

The Mitaka International Festival, MISHOP World, was held on September 23rd at the Inokashira West Park Bunka Hiroba and around the baseball stadium. The day was blessed with sunny weather and 48,000 people visited the venue and enjoyed foods and flavors, music, dances, and more from around the world.

イングリッシュラウンジ

高齢者介護テーマに英語で意見交換 オランダから11名がラウンジ訪問

10月9日のイングリッシュラウンジに、オランダから福祉関係者など女性11人が訪れました。MISHOP会員も約40人が参加して、英語で活発に意見を交わしました。

オランダのコリネさんとカティンカさんが訪日を企画し、会員で親交のある中里さん夫妻がラウンジ訪問を橋渡ししたものです。初めに代表のコリネさんが「オランダと日本では高齢者を取り巻く環境が違いますが、特に日本人が“古い”をどう考えているか知りたいです」と挨拶しました。

その後3つのグループに分かれて、約90分間の議論が交わされました。老化を防ぐための秘訣や、親族の介護の体験談、介護ロボットの活用方法など、時間が足りないほどでした。

最後にオランダのメンバー3人が、それぞれのグループのまとめを発表しました。特に、老人を取り巻く地域コミュニティや家族が果たす役割の重要性、「将来老いても施設には入りたくない」といった点で、参加者の意見が一致したことが印象的でした。

参加者からは「日本もオランダも、同じような介護の問題を抱えていることがわかった」「今後さらに進む高齢化社会で、自分ができることを考えていきたいです」といった感想が聞かれました。



Message from the Editors 編集室

MISHOPは来年の11月23日で満30歳となります。創立30周年に向けて10月13日に意見交換会が開かれ、参加者がこれまでを振り返り、これからの課題や方向性などを話し合いました。次回は11月10日14時から開催。誰でも参加できます。

MISHOP will turn 30 years old on November 23 of next year. An opinion exchange meeting was held on October 13 considering the 30th anniversary of the foundation. Eight people reviewed the past, and discussed future issues and directions. The next meeting will be held from 2p.m. on November 10; anyone is welcome to join.

MISHOP World 2018 9.23 at Inokashira West Park

